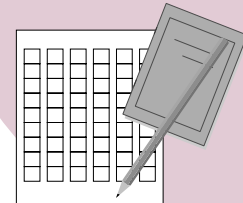


中学生の「税」に関する作文



熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会では「税を考える週間」にあわせ「税についての作文」を募集し、優れた作品の表彰を行っています。11月13日に熊谷商工会館で表彰が行われました。ここでは、寄居町からの入賞者を紹介します。〈敬称略〉

寄居町長賞

「税金の使われ方」

佐藤 麻美（男衾中3年）

寄居町教育委員会教育長賞

「大切な税」

大澤 奈々（男衾中3年）

国税モニター会長賞

「税金のありがたみ」

長谷部綾子（城南中3年）

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

「未来のために」

大澤 徳仁（寄居中3年）

「私たちの未来をつなぐ税」

内野 瑞季（寄居中3年）

「税を通して見えてきたこと」

金子 友紀野（城南中3年）

国語辞典で「税金」を調べてみたら、「国や市町村などに対して納めるお金。道路をよくしたり学校を作るなど、おおよげの事業に使われる」とありました。税は、私たち国民の暮らしを支えるために必要な会費のようなものです。私たちの身近な税の使われ方を調べてみると、驚くほど身近でたくさんの方に使われていました。まず、学校の建設。通学や通行するための道路建設。道路にある信号機。生活する時に出るゴミ処理施設や公園、市民病院など、税金が様々な形に変わり、身近に役立っていることがわかります。もしも、この国に税金がなかったら…。考えるだけでも恐ろしいことです。私たちが税金を納めなければ、今私たちが、あたりまえのように使っている快適な暮らしが出来なくなってしまうのです。例えば、医療費が有料になったり、救急車がすべて自己負担になったり、ゴミの回収、交番の案内やパトロールなどのあたりまえのことが、あたりまえではなくなるなど、今の私たちには想像もつかないことです。その大切な税金の使い道は「国会」で決められます。平成二十一年度の内訳を見てみると、社会保障関係費（健康、生活を守るための予算）が28%。公共事業関係費（道路、住宅などの整備のため）が8%。文教及び科学振興費（教育、科学技術を盛んにするため）が6%。これらが私たちに直接関係する税金だと思えます。そして、その他が16%。都道府県、市区町村の財政を補うための19%など。そんな中、一番驚いたのは、国債費（国の借金返済、利子の支払いのため）に23%もの予算が使われていることです。これを金額にすると、20兆を超えるほどになります。私たちの快適な暮らしは税金だけで足りず、国が借金をして、その借金の返済のために毎年多くの予算を借金返済にとらわれていることで、借金返済の道が見えないまま、近い将来更なる少子高齢化を迎え、今の社会保障制度のままの場合、年金や医療の負担が上昇し、私たちの世代にも大きな負担を残すかもしれないということが予想されています。大切な税金の使い道を決めるのは「国会」です。その国会に出席出来るのは、選挙で選ばれた国民の代表となる国会議員です。国民全員の大変な税の使い道を決めるのだから、みんなの意見を国会に伝えられる人を選ばなければいけないなあと思いました。私は最近のニュースで「税金のムダ使い」という言葉を見ました。それが本当なら、とても悲しい事です。しかしその国会議員を決めたのは私たちなのです。将来、自分たちが選挙に投票出来るようになった時は、本当に国民の事を考えてくれる国会議員を選びたいと思いました。

公表します！

町の財政事情

平成21年度上半期
(平成21年4月～9月)

町では、12月1日に平成21年度上半期の財政事情を公表しました。これは、町の財政状況を皆さんに広く知っていただくために、6月と12月の年2回、定期的に発行しているものです。

一般会計予算の執行状況

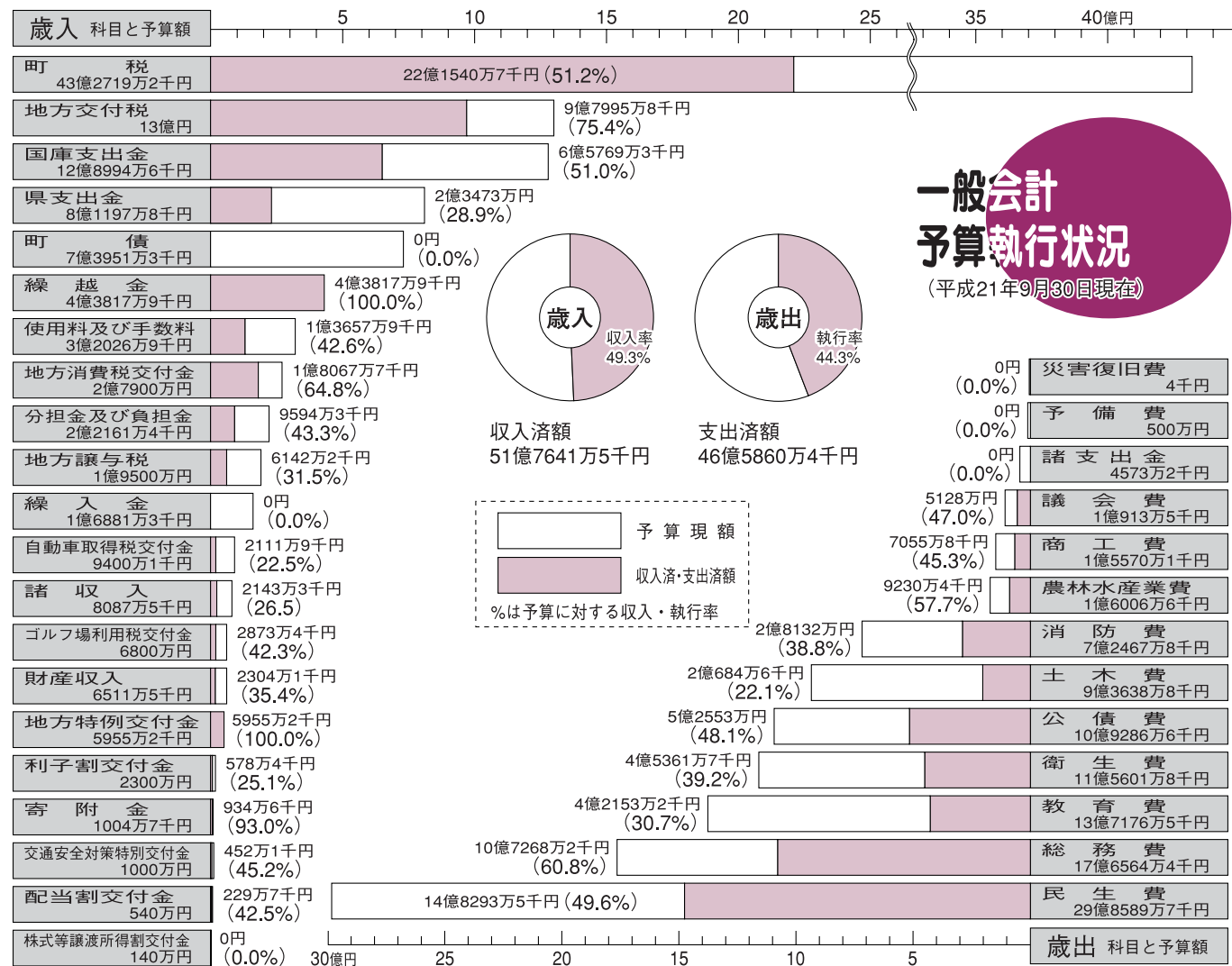
9月末日の一般会計の執行状況は下のグラフのとおりです。予算現額は、105億889万4千円（前年度からの繰越予算を含む）で、収入済額は51億7、641万5千円、49.3%の収入率となっています。

収入済額の主な内訳としては、町税と地方交付税で収入済額全体の61.7%を占めています。これは、税の納付や交付税の交付が年度内に平均して行われるのに対して、国・県支出金や町債などは、事業費の確定後に交付されることから、年度の下半期に集中して交付されるためです。

支出済額は、46億5、860万4千円で44.3%の執行率となっています。土木費等の執行率が低いのは、支払いが工事完了後の下半期になる事業が多いためです。

一般会計 予算執行状況

(平成21年9月30日現在)



特別会計予算の執行状況

区分	予算現額	収入済額	収入率%	区分	予算現額	支出済額	執行率%
国民健康保険	37億5701万7千円	14億2268万4千円	37.9	国民健康保険	37億5701万7千円	17億830万4千円	45.5
老人保健	6960万6千円	6103万6千円	87.7	老人保健	6960万6千円	8万6千円	0.1
後期高齢者医療	2億9098万1千円	1億1065万4千円	38.0	後期高齢者医療	2億9098万1千円	9405万円	32.3
下水道事業	8億6266万円	4億1293万2千円	47.9	下水道事業	8億6266万円	1億7160万8千円	19.9
農業集落排水事業	2億8473万9千円	4110万4千円	14.4	農業集落排水事業	2億8473万9千円	6138万2千円	21.6
水道事業	8億7832万7千円	4億2328万7千円	48.2	水道事業	8億4150万3千円	2億1563万6千円	25.6
資本的	4億2317万5千円	596万4千円	1.4	資本的	8億5352万4千円	7461万8千円	8.7
合計	65億6650万5千円	24億7766万1千円	37.7	合計	69億6003万円	23億2568万4千円	33.4

問い合わせ／財務課（☎581・2121内線323）へ。